



教え子を再び戦場に送るな！ 2020年8月5日発行NO. 6 1 3

文科省が2010年に作成した少人数学級の計画案

40人⇒35人						35人⇒30人	
2011年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度
小1 小2	小3	小4	小5	小6	-	小1	小2
-	-	-	中1	中2	中3	-	-

1学級当たりの児童生徒数 [国際比較]



OECD「図表で見る教育(2019年版)」表 D2.1より抜粋

学びの個別最適化の進む世界動向に鑑みても、不登校対策の観点からも、そして感染症予防対策としても、**少人数学級化が必要**できれば**20人程度**、少なくとも**30人未満の早期実現**を目標とすべき

2010年に文科省は、少人数学級の計画案を発表(左表)しました。本来なら今では中学3年生まで35人学級、小学1、2年生は30人学級になっていたはずですが、しかし、8年前に発足した安倍内閣は、この計画をストップさせて現在に至ります。

7月20日におこなわれた教育再生実行会議で委員の一人、倉田箕面市長は「少人数学級化が必要」と資料(左下グラフ)を提出。また、7月30日の文科省と校長会との意見交換会の場で、萩生田文科大臣は「40人学級編成を変えないなら教室が狭すぎ、教室の広さを変えないのであれば」

文科省 10年前に少人数学級を計画

与党 文科省からも

コロナ後の学校 少人数学級議論が活発化、現実の課題に

児童・生徒数を減らさなければならぬ」との認識を示しました。コロナ禍によって、学校現場が「3密」が避けられないことが明らかになってい

もっとも重要なこと 声を広げること

市内小中学校での感染対策

8月お盆には700人超

大阪府は7月28日に対策本部会議を行って、その会議の場で配布された資料(現在の感染状況及び療養状況について)において、7月末までに具体的な対策が取られなければ8月14日には新規陽性者が753人になるという試算が示されています。(右上QRコード)

防疫目的のPCR検査を

市立小中学校でも感染者も広がってきています。

級を実現するとりくみをすすめましょう。「学校の3密を解消してください!子どもたちに20人学級をプレゼントしよう!」と市民の会が結成され、長内市長・岩元教育長宛の要望署名を取り組み始めました。

また、全国の教育研究者も全国署名を始めました。今、PCR検査を受けられる人は極めて限られています。感染者の出た当該の学校の教職員が感染していないかどうか検査を求めました。しかし、検査を受けられる人は、感染のおそれのある人、濃厚接触者等に限定されています。また、検査を受ければ、自動的に2週間の自宅待機をする制度になっていくようです。検査を受ければ、出勤・授業ができない事態になります。集団感染によるリスクの高い学校現場、保育や福祉、医療機関等、定期的なPCR検査ができるように豊中市としての対策をとる必要があります。

戦後75年の夏 戦争・平和について考えよう！

今年は8月7日が一学期の終業式。8月6日の広島に原爆が投下された日は授業日です。

子どもたちと平和について、原爆・核兵器の恐ろしさについて、いっしょに考える機会にしたいものです。

今年には戦争が終わって75年の節目の年でもあります。この夏、戦争に関する映画やテレビ番組があります。一部を紹介します。

【映画】

「おがあさの被爆ピアノ」

監督 五藤利弘

ピアノ調律師の矢川(佐野史郎)は広島で被爆したピアノを調律し、トラックに乗せて全国を回る。幼稚園教師を目指す江口菜々子(武藤十夢)は、母・久美子(森口瑤子)が被爆ピアノを寄

贈したことを知り、コンサートを訪れて矢川と会う…。7日、テアトル梅田

「日本人の忘れもの ファイリピンと 中国の残留邦人」

監督 小原浩靖

2つの国の残留者たちと彼らを救おうと活動する市民。

8日、第七藝劇場(十三駅)

「海辺の映画館 キノマの玉手箱」

監督 大林宣彦

コロナ禍の影響で公開が延期となっていた大林宣彦監督の遺作となった作品。高まる戦争への危機感に若い世代への平和へのメッセージが込められている。

舞台は監督出身地の尾道。出演 常盤貴子 成海璃子 厚木拓郎

7月31日、大阪ステーション

「ドキュメンタリー 沖繩戦 知られざる 悲しみの記憶」

監督 太田隆文

県民の3人に1人が死亡した日本で唯一地上戦が行われた沖縄。

戦後75年、沖縄戦の体験者12人、専門家8人による証言と米軍が撮影した記録映像を駆使した作品。

上映中 第七藝劇場

《映画上映については、コロナ禍の関係もあり、映画館に確認ください》

【テレビ】

■「#あちこちのすずさん 若者が語る戦争」

13日 午後10時

SNSに投稿するキャンペーン「#あちこちのすずさん」投稿された3000件を超えるエピソードの一部をアニメにして伝えます。

出演者 八乙女光

■「国際共同制作 特集 ドラマ 太陽の子」

15日 午後7時30分

第二次世界大戦末期、京都大学の研究室に下された密命は核分裂のエネルギーを使った新型爆弾をつくること。研究を進める一方、兵器開発に苦勞する研究者たち。戦争に翻弄された若者の悲劇を史実を基に描く。出演 三浦春馬 有村架純 柳楽優弥

■「ETV特集「焼き場に立つ少年」を探して」

8日 午後11時

「焼き場に立つ少年」とは、被爆後の長崎で息絶えた弟を背負い、たった一人で火葬の順番を待つ少年をとらえた写真。「左写真」(米軍従軍記者ジョーオダネルが撮影。)いまだに少年が誰なのか不明。番組ではその真相を探りながら、少年のよいうな「原爆孤児」たちがいきつた過酷な現実を迫る。

《テレビ番組の紹介はいずれもNHK》



昨年11月に来日したローマ法王が「このような写真は千の言葉より伝える力がある」と写真をカードに印刷して各国に配布